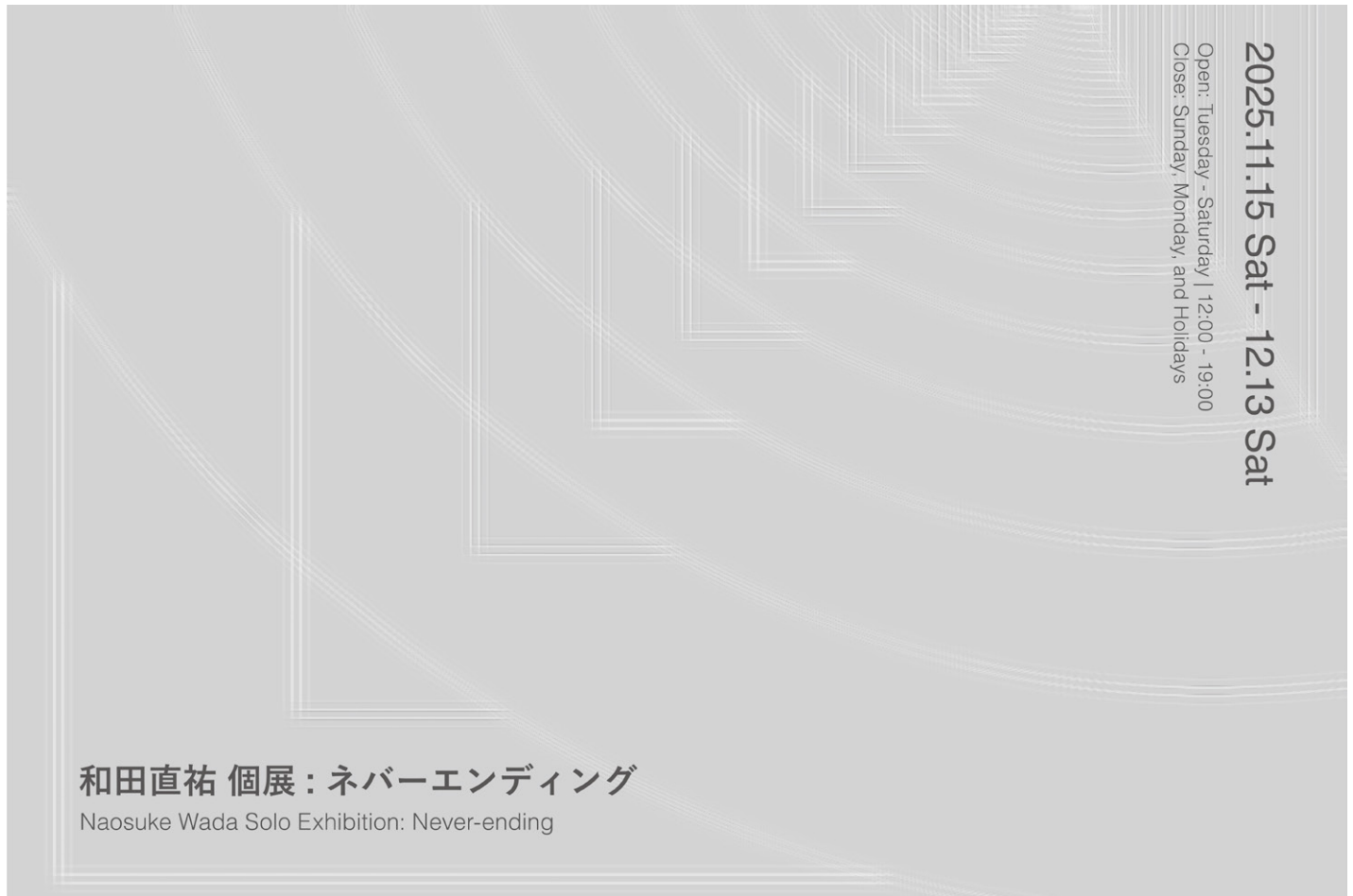




このたびTEZUKAYAMA GALLERYでは、和田直祐による個展「ネバーエンディング」を開催いたします。
和田は1983年兵庫県生まれ。2013年に京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）大学院芸術研究科を修了しました。京都を拠点に活動が続けたのち、現在は大阪を拠点に精力的な制作を展開しています。

和田の作品において特筆すべきは、薄く溶いた絵具を幾層にも重ねる古典的技法「グレージング」を参照しながら、光と空間を主題に独自の絵画表現を構築している点です。高透明のメディウムを用いて何層にも塗り重ねられた絵具の層は、繊細な色彩と奥行きを帯び、光そのものを内包したかのような独特の透明感を生み出しています。鑑賞者との距離や視点によって形や色が微妙に変化し、まるで漂流する氷河のような流動性を伴う視覚体験をもたらします。また、重なりゆく記憶や時間の構造を取り込みつつ、それらを絵画として昇華することで、「見る」という行為そのものの再考を促します。

2022年の初個展では、前述の絵画構造を踏襲しながらも、支持体の一部を欠損させたり、消失・収縮・湾曲といった物質的变化を前景化させた作品群を発表し、自身の絵画表現を新たな局面へと展開しました。翌2023年の鈴木淳夫とのデュオ展「切磋 ― 絵画の証 IV」では、企画および展示構成までを両者で監修し、それぞれの絵画観を展覧会という形式を通して顕在化させました。さらに、2024年から始動した東京・大阪・ソウル（韓国）の3ギャラリーによる共同企画「Intervals」にも参加しており、来年にはソウルでの新作発表を控えるなど、今後の活動にも注目が集まる作家です。

約3年ぶりの開催となる本展では、これまでの制作プロセスに交錯してきた「トリミング」という要素を、より意識的に捉えながら考察します。前回の個展では、絵画空間の境界に物理的な欠損や裂け目といった「消失／空白」を介在させることで、歪なコントラストを生み出し、鑑賞者の想像力に委ねることで、絵画空間の補完性を問う構成を展開しました。本展では、ある図像を参照しつつ、その一部を切り取ることで新たなイメージが無限に派生することに着目し、これまでに構築してきた自身の制作プロセスとも重ね合わせながら制作した新作群を発表します。
個展に向けて和田は「創作の過程の一端や、その最中に生まれる感覚的な事柄をテーマにしたい。制作において思索を重ねる事だけに重点を置くだけでなく、行為や作品が立ち上がるまでの過程を通して絵画と向き合いたくなった。」と語っています。

多くの画家たちがオリジナリティの探求を続ける一方で、絵画史からの影響を免れ得ないのも事実です。本展における和田の試みは、そうした歴史的文脈との関係を改めて測り直す行為として捉えることができるでしょう。同時に、それは自身の絵画観を再検証し、絵画という営みそのものに対する批評的視座を促すものとなっています。

この機会にぜひ、ご高覧下さいませ。

和田直祐 | Naosuke Wada

1983 兵庫県生まれ
2013 京都造形芸術大学(現:京都芸術大学)大学院修士課程 芸術研究科芸術表現専攻ペインティング領域 修了

主な個展

2023 「Whole set of No.2 to 8」 | GALLERT RIN 麟, 東京
2022 「Pathway」 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
2016 和田直祐 絵画展「Terrarium」|山中suplex, 滋賀

主なグループ展, アートフェア

2025 「Intervals: Extraction」 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
「CAPS:Contemporary Art Practice | Studio – CAPS 2025展」 | 高島屋大阪店, 大阪
「ART FAIR TOKYO 2025」 | 東京国際フォーラム, 東京
「Voices展—京都芸術大学大院修了生選抜展2010-2015」 | Galerie Aube, 京都
「RE: FOCUS vol.6」 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
2024 「Micro Salon ミクロサロン」 | CADAN有楽町 Space, 東京
「Intervals: Distance」 | KOKI ARTS, 東京
「ART NAKANOSHIMA 2024」 | 堂島リバーフォーラム, 大阪
「MEET YOUR ART FESTIVAL 2024-NEW ERA」 | 東京・天王洲運河一帯, 東京
「From the Oblivion – 忘却の記憶」 | POOL SIDE GALLERY, 金沢
「記憶するか消えるか」 | Alpha Contemporary, 東京
「Contemporary Art Fair at HANKYU LUX」 | 阪急うめだ本店, 大阪
「The Echoes of East Kyoto」 | WHAT CAFE, 東京
2023 「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023」 | マリンメッセ福岡, 福岡
「Sydney Contemporary」 | Carriageworks, Sydney
「間 そうぞうのよはく」 | graf porch, 大阪
「ART NAKANOSHIMA 2023」 | 堂島リバーフォーラム, 大阪
2022 「can (not) reach 」 | EUKARYOTE, 東京
「ART FAIR TOKYO 2022」 | 東京国際フォーラム, Tokyo
「ART OSAKA 2022」 | 大阪市中心公会堂 ,Osaka
2021 「DELTA 2021」 | シーサイドスタジオCASO, 大阪

受賞歴

2025 京都府新鋭選抜展 2021 | 入選
2018 第9回はるひ絵画トリエンナーレ | 佳作
2017 第12回TAGBORT AWARD | 入選

□ 作品 | Artworks



和田直祐 個展 「Pathway」 2022 | Venue: TEZUKAYAMA GALLERY | Photo by Hyogo Mugyuda



L→R
An ellipsis, somewhat narrow slit
2025
urethane paint on wooden panel
H1800 × W700 × D40 mm

An exhibition as close to painting as possible #1
2025
wood, urethane paint, acrylic, wall paper, lacquer spray
H2400 × W900 mm *size variable

□ 展覧会情報 | Exhibition Information

和田直祐 | Naosuke Wada

ネバーエンディング

2025.11.15 Sat - 12.13 Sat

営業時間: 火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日
OPEN: Tue - Sat 12:00 - 19:00 | CLOSED: Sunday, Monday and Holiday
お問合せ: info@tezukayama-g.com / 岡田 (TEZUKAYAMA GALLERY)

TEZUKAYAMA GALLERY

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F
Yamazaki Bldg. 2F, 1-19-27 Minami-Horie, Nishi-ku, Osaka, 550-0015 JAPAN
t: +81 6 6534 3993 | e: info@tezukayama-g.com

